学校番号	2102

令和３年度　家庭科

教科	家庭科	科目	服飾手芸	単位数	２単位	年次	全年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「服飾手芸」は、家庭科の専門科目です。必履修科目で基礎・基本的な裁縫の知識・技能を身につけたうえで選択してください。授業は基本的に作品製作実習です。手芸に、興味・関心を持ち、根気強く、丁寧に作業を継続する必要があります。作品製作を通して手芸の知識と技術をさらに深めましょう。

２　学習の到達目標

・手芸の種類、歴史や文化を理解する。
・手芸の知識・技術を身につける。
・技術を活用して、作品を創作する。
・作品表現を共有し学びあう。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	手芸に興味・関心を持ち、目標に沿って製作計画を立て、意欲的に取り組んでいる。	手芸材料の特徴や技法を理解し、それを生かした作品を創作できている。	基本的な技法を理解したうえで、作品製作に必要な技能を身につけている。	作品製作に必要な手芸の知識、技術について基礎的な理解ができている。
評価方法	・実習により作成した作品等で、知識・理解、技能、思考・判断・表現を評価します。 ・授業態度･出欠状況･実習進度・提出物等で学習に取り組む態度･関心･意欲を評価します。			

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	ガイダンス	服飾手芸を学ぶにあたって	○			○	a:本科目を選択した理由や学習目標が明確である。 d:基本的な裁縫知識について理解している。	プリント提出
	手芸の種類と特徴	手芸の種類とその特徴、および地域の伝統文化				○	d:手芸の種類と特徴について講義の内容を理解している。	プリント提出
	手芸の変遷	刺しゅう・編み物・染色・織物及びその他の手芸の変遷				○	d:手芸の起源から現在に至るまでの変遷について、講義の内容を理解している。	プリント提出
	各種手芸の技法	作品製作に必要な作品技法	○	○	○		a:製作に必要となる基礎的な手芸技法の実習に意欲的に取り組んでいる。 b:扱う手芸材料の特徴や技法を理解している。 c:基本的な技法を理解したうえで必要な技能を身につけている。	実習態度 成果物
	手芸品の製作	作品製作	○	○	○		a:製作目標に沿って計画を立て意欲的に取り組んでいる。 b:手芸材料の特徴・技法を理解し、それを生かした作品を創作できている。 c:自分の作品に必要な技法を理解し、習得に努めている。	実習態度 作品提出
	まとめ	作品発表鑑賞会（まとめ）	○	○			a:　他の生徒の作品について興味関心を持って鑑賞できている。 b:自分の作品表現について、しっかりコメントできている。	発表・鑑賞についての態度およびレポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）

の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。